



- P2 3月議会概要、賛否一覧
- P3 議会出前講座再開します!!
- P4～15 一般質問で町政を問う
- P16 現地視察レポート
- P17 視察来町、最近の議会活動
- P18 要望書、編集後記

令和5年 **3** 月議会

第**72**号

# 議会だより

■ 標題は有明東小学校

6年山口澤来さんの作品です



# 3月定例議会概要

3月定例議会は、3月3日から15日までの13日間で行いました。

町長から、令和5年度当初予算や条例、人事、契約の変更など追加議案を含め20件の議案が提出され、各議案は本会議での審査を経て可決・同意しました。一般質問は12人が行い、農業振興、漁業者支援、まちづくり、教育、道の駅・観光振興、DXなどについて執行部の考えを質しました。また、2月10日には臨時議会が開催され、補正予算と契約案件3件の議案を可決しました。



令和5年3月議会定例会には、11人の傍聴者にお越しいただきました。皆さんの傍聴をお待ちしています！

賛成 …… ○ 反対 …… ● 欠席 …… 欠

## 賛否一覧

	議案番号	議案	結果	吉岡	岸川	友田	重富	中村	定松	前田	溝口	大串	吉岡	草場	井崎	内野	西山	溝上	
				正博	信義	香将雄	邦夫	秀子	弘介	弘次郎	誠	武次	英允	祥則	好信	さよ子	清則	良夫	
2月臨時会	1	専決処分の承認（令和4年度一般会計補正予算（第7号））	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	2	住ノ江漁港水産生産基盤整備事業棧橋施設第2期工事請負契約の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	3	令和4年度一般会計補正予算（第8号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3月定例会	4	個人情報保護法施行条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	
	5	情報公開・個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	
	6	国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	
	7	子どもの医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	
	8	重度心身障害者の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	
	9	うたがき研修施設条例を廃止する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	
	10	学校施設環境改善交付金事業新学校給食センター建築工事請負契約の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	
	11	財産の無償譲渡の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	
	12	副町長の選任（百武和義氏）	同意	無記名投票による採決（賛成多数）													欠		
	13	人権擁護委員候補者の推薦（百崎和彦氏）	意義ない旨答申	（全員賛成）													欠		
	14	固定資産評価員の選任（門田藤信氏）	同意	（全員賛成）													欠		
	15	令和4年度一般会計補正予算（第9号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
	16	令和4年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
	17	令和4年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
	18	令和4年度下水道事業会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
	19	令和5年度一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
	20	令和5年度国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
	21	令和5年度後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
	22	令和5年度下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
	23	学校施設環境改善交付金事業白石中学校校舎・体育館改修工事請負契約の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○

※議長は賛否の意思表示をすることはできません。採決の結果、可否同数となった場合は議長が裁決権を行使します。



コロナでしばらく中止していましたが。。

## 議会出前講座 再開します!!

白石町議会では、町民の皆さんからの要請に対し、議会として町の行政の現状や課題、施策などについてお話をさせて頂く「議会出前講座」を行っています。近年は新型コロナウイルス感染症対策として一時的に講座を中止しておりましたが、4月より再開を致しております。各地域の皆様も会合の際には、どうぞ議会出前講座をご活用ください。

※議員を3班に分けて伺いますので、議会全員の出席ではございません。

※事前に聞きたいテーマを頂けましたら資料を準備致しますが、すべてに対応することは困難です。ご了承ください。

○申し込み・・・原則として、町内に在住・勤務・在学している10人以上で構成された団体、グループなどです。

(いわゆる、老人会・三夜待・六夜待などの集まりでもOK。)

○開催日時・・・開催時間は、土・日・祝日を除く、午前9時から午後9時までの間の2時間以内で、場所は白石町内に限ります。

○問い合わせ・・・議会事務局 (TEL0952-84-7126)



まえだ ひろしげ 議員  
前田 弘次郎

**問** 道の駅しろいしの混雑対応は

**答** 直売所運営会議で継続して協議する

**議員** オープンして表れてきた課題は。

**商工観光課長** 直売

部門では来場者の増加に商品供給が追いつかず、不足の状態が見受けられた。端境期の品数についても、まだまだ不安がある。

**議員** 店舗の拡張・リニユーアルの計画は。

**商工観光課長** 道の

駅の施設自体は町の所有であることから、町で対応すると考えている。多額の経費を要することから、十分な計画が必要である。

**問** 新設中学校の通学路の指定は

**答** 新しい学校づくり準備委員会で検討している。

**議員** スクールバス6台の根拠は。

**学校教育課長** 通学

支援の対象地区における令和6年度の生徒数予想は、福富方面84人、牛間田方面15人、新明方面12人の計111人。マイクロバス1台に21人での運行を計画し、福富方面4台、有明方面2台の計6台を予定している。

**議員** 通学路の街路灯の考えは。

**学校教育課長** 関係

課、地元の方とも協議、連携しながら街路灯の整備に取り組んでいくが、予算の問題もあり、優先順位をつけながらの整備となる。また、もう一点、課題があり、街路灯の明かりによる農作物の生育への影響による光害対策についても検討し、農業者に理解を得ながら、街路灯の整備を行いたい。

**問** これからの空き家対策の在り方は

**答** 空き家対策については様々な課題がある

**議員** 空き家対策の在り方は。

**総合戦略課長** 様々な

課題がある。①相続がなされていない土地や家屋が多く、相続人等の追跡調査に多くの時間を費やしている。



※白石町HP

②所有者が町外に居住している場合が多く、所有する空き家の状態を把握されていないことや、相続等により取得したことを認識していない場合等があり、すぐに法的な措置、手続きを開始することができないケース。③特定空家については、空家等対策協議会での認定後は、全ての所有者、相続人に対し、法に基づく助言又は指導、勧告、命令の手続きを順に行うこととなる。



なかむら ひでこ  
**中村 秀子** 議員

**問** 不登校の現状は

**答** 増加率が高く喫緊の課題である

**議員** 不登校の子ども達には「あなたは大丈夫」というメッセージの発信と居場所づくりが大切である。

本町の現状、支援スタッフの状況、支援の在り方、教育支援室「コンフォートあい」の支援、卒業後の進路、予防策、不登校を持つ保護者の支援は。

**主任指導主事**

不登校

校の児童生徒はここ数年40名前後であり、増加率が高く喫緊の課題である。不登校ではないが教室に入れない生徒も20名程度いる。支援には、担任や支援員を中心にスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーが情報を共有しながら対応している。また、タブレット端末を使つてのリモート授業も行われるようになってきている。

教育支援室「コンフォートあい」には5名の生徒が入室し、常勤1名、非常勤2名の支援員のもと、本人の心の状態に合わせて計画を立て学習や、生活体験・自

然体験等を行い、自立を促している。中学校卒業後の進路は、令和3年度は県立高校へ2名、私立高校へ1名、高等専修学校へ2名進学した。

**教育長**

その後の進路についても今後可能な限り調査をしていきたい。

**主任指導主事**

保護

者への支援として、心情に寄り添うことやケースによっては専門的な立場での指導助言を行っている。親の会は出来ていないが県内の親の会を紹介している。本町での親の会も発足できると検討したい。

**問** インボイス制度の対応は

**答** 周知をして、適切に対応していく

**議員**

インボイス制度が10月から始まる。制度の概要、行政での対応、町内事業者への影響及び各指定管理団体の対応、中でもしるいし道の駅での対応は。

**税務課長**

インボイス制度は従来非課税だった課税所得1千万円以下の事業者でも、取引上、請求書が必要とされれば、課税事業者としてインボイス登録をして請求書を発行しなければならぬ。このことにより消費税の仕入れとして控除することができぬ。

**企画財政課長**

役場

でも一般会計、下水道事業会計など準備を進めている。

**商工観光課長**

町内

商工業者及び農業者へも経理等の事務作業が増えることなど影響があるが、まだ制度が浸透していないので、商工会でセミナーや相談会が行われている。道の駅は出荷者の内インボイス登録者はラベルにその旨記載される。





いざき よしのぶ  
**井崎 好信** 議員

**問** 農産物価格に転嫁できる仕組みづくりを

**答** 県や市場関係者と情報を共有し、国へ要望活動等を行っていききたい

**議員** 生産資材が高騰し農家経営は厳しくなっている。農産物は市場価格において決定されているが、生産コスト上昇分を農産物価格に転嫁できる仕組みづく

りを働きかける必要があるのでは。

**町長** 農産物の適切な価格形成へ消費者や流通業者に理解を呼びかけることが必要であり、県や市場関係と情報を共有し

国へ要望活動を行っていききたい。

**議員** 佐賀県の事業

で施設園芸においてハウスの加温にかかるA重油に対して補助金が交付されるようであるが、本町の上乗せ支援の考えは。

**農業振興課長** 物価

高騰対応応援金事業で使用量に応じて支援されており、セーフティーネット事業に加入している農家が多いことから考えていない。

**議員** 燃料価格の高

騰分を補填する施設園芸セーフティーネット事業への加入数は。

**農業振興課長** 17

2戸中、144戸が加入されており加入率84%である。

**議員** 近年カモによ

る麦の若葉を食い荒らされる被害が多数見受けられる。対策や補助はどのように考えているのか。

**農業振興課長** 実証

実験をやっているが有効な方策がなく、農家の自衛による対策や、かつ広域的な対策が必要であり県にも要望を行って行く。被害防止対策資材の購入に対しては、有害鳥獣防止対策事業で補助を活用していただきたい。

**問** 海苔養殖への次期作に向けた支援策は

**答** 海苔養殖業の継続ができるように3事業の支援を行う

**議員** 令和4年度の

海苔養殖は記録的な不作になっており、昨年からの不作続きで漁家経営は厳しい状況となっている。町として次期作支援をどのように考えるのか。

**農村整備課長** 次期

海苔養殖業が継続できるように、栄養塩不足対策に要した費用への補助、力キ殻糸状態購入に対する補助、漁業被害対策特別資金に対して利子補給と3事業で次期作支援を行うようにしている。



●海苔の摘み取り作業



くさば よしのり  
**草場 祥則** 議員

**問** 小学校再編におけるまちづくりの考えは

**答** 魅力あるまちづくりへの起点となるよう将来像を描きたい

**議員** 小学校の統合再編における学校・家庭・地域の連携は。

**学校教育課長** 学校は中学校に比べて地域コミュニティの核としての性格が強い存在である。

地域とともにある学校づくりを進めていく必要がある。

**議員** 小学校再編計画は、まちづくりの根幹として大きな役割がある。町長はどのように考えている

のか。

**町長** 白石、福富、有明の3地域へ小学校を置くことで、地域コミュニティの核としての存在、子育ての利便性や地域活性化のきっかけとなることも期待できる。これを契機に、定住促進のための分譲住宅地の形成や雇用促進にも取り組みたい。魅力あるまちづくりへの起点となるよう、教育環境の観点からも最善の効果を得られるような将来像を描きたい。



**問** 一般の農業者に支援が少ないとの声があるが

**答** 農業には最大限の支援をしてきたところである

**議員** 農業経営の法人化や集落営農組織など推進されてきたが、その現状と農業者の声は。

**農業振興課長** 9つの集落営農法人、12の集落営農組合が立ち上げられている。各法人とも役員を中心に非常に尽力いただいているが、法人によつては脱退者も見受けられ、構成員から法人のメリットについて疑問の声を聞いている。構成員の高齢化や後継者不足も問題であり、今後の課題として検討が必要と感ずる。

**議員** 新規就農者に比べて一般の農業者に支援が少ないとの声があるが。

**農業振興課長** 新型コロナウイルスの影響により、多くの方々が影響を受けられたと思う。農業者の方も飲食業や小売業が低迷した影響を受けられ苦しい思いをされたと感じている。国を含め県、町の行政機関で様々な支援を行ってきた。

**議員** 農業従事者の高齢化などにより、集落の環境保全も危惧される。農業に参入できる企業の要件は。

**農業委員会局長** 農業を営む法人は、農業法人と言われているが、会社法による株式会社や有限会社等を含む持分会社と、農業協同組合法による農事組合法人の2種類。企業を含めた農業法人が農業に参入されることにより、新規就農や地域雇用の受け皿となるなど農業の活性化にも役立つと考えている。



よし おか ひて みつ  
**吉岡 英允** 議員

**問** 公共施設の跡地を利活用した新しいまちづくりは

**答** 「雇用の場の確保」「若者世代の住居の確保」に重点を置き模索する

**議員** 有明海沿岸道路福富一・Cが開通したことにより、人や車の流れが大きく変化している。小学校再編の方向性が決

まりつつある中、これからの10年間で人口減少対策の正念場となるのではないのか。

**町長** 子どもを持つ若者世代の移住・定住を強く意識した施策に取り組み、幹線道路沿いの公共施設跡地については移住・定住につながるような活用の施策に取り組みたい。

**議員** 民間の宅地開発やアパート建築などに期待するだけで、若者世代の町外転出に歯止めをかけることができると考えているのか。

**町長** 今後、複数の公共施設の跡地を利活用していくこととなるが、「雇用の場の確保」と「若者世代の住居の確保」に重点を置きながら跡地の利用を模索したい。

**議員** 中学校統合再編により福富中学校は廃校となる。跡地利用を最初に取り組む所ではないのか。

**総合戦略課長** 福富中学校と隣接する福富社会体育館の施設及び跡地の利活用については、既に検討を行っている。これから、具体的な効果検証を進めていきたい。

**議員** 県立大学の設置構想について、県内の市町が次々と誘致に名乗りを上げているとの報道がある。本町においても要望書を提出しているが、その後の県の動向は。

**企画財政課長** 大学の設置場所については、企業、研究機関、教育機関などの連携を図る観点と、通学の利便性等も考慮し決定するとされ、県の当初予算に、県立大学設置に向けた基本構想策定に向けたの予算が可決されたところである。

**議員** ぜひとも誘致に成功していただきたい。町長のまちづくりの考えは。

**町長** 高校と町や地域、企業と連携した活動を積極的に推進しながら、新たに、町外の教育機関や研究機関との連携を深め足掛りとして。また、そのような取り組みが県立大学設置につながり、定住人口が増加することにより、本町の喫緊の課題である人口減少問題の解消につなげたい。







しげ ども くに お  
**重富 邦夫** 議員

**問** コロナ禍で地域力が弱まっているのでは

**答** 今後の地域活性化に向けて検討している

**議員** 長引くコロナ禍により地域力が弱まっていると感じる。以前の地域活動に早期に戻し活性化していくべきでは。

**生涯学習課長** 今年度は感染対策をとりながら、町民が自由に参加できるスポーツ事業や生涯学習の

推進に努めてきた。今後の地域活性化に向けて検討するため、自治公民館長やスポーツ推進委員との意見交換会を開催し情報収集に取り組み、きたところであり、今後の事業に反映させたい。

**問** 戦略的アドバイザーの設置は

**答** 状況に応じ対応していきたい

**議員** 若手職員が斬新なまちづくりのアイデアを企画提案するような試みが行われ事業化されている自治体もある。町は推進する施策や意見提案など、職員からどのように吸い上げ、活かしているのか。

**企画財政課長** 職員

からの企画や施策への意見は、職員提案制度を設けている。また政策立案研究制度を設けており、若手職員5名程度がグループで先進地に向き研究し、行政会議で提案発表を行わせている。

**議員** まちづくりの戦略について、外からの意見を取り入れられるよう、戦略的アドバイザーの設置は。

**副町長** まちづくり

においては、各種委員会や審議会の際に委員から意見をいただいている。可能な限り町長以下職員が地域に向き直接声をお聞きしている。町行政に求められる課題は複雑多様化しているので、専門的知識を持つアドバイザーのアドバイザーは状況に応じ対応していきたい。

**問** 牡蠣小屋事業の検討ができないか

**答** 課題も多いが役員会へ伝える

**議員** 道の駅しろいしは、賑わいを見せているが、早期に次の戦略を立てる必要がある。牡蠣小屋事業の検討ができないか。

**商工観光課長** 来場

者の増加に伴い、各部門とも販売金額が増加している。

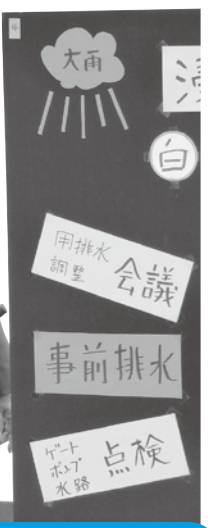
これからも成長を維持するためには、道の駅の商品を常に高め続ける必要がある。牡蠣小屋事業を実施するには課題も多くある。道の駅役員会へ参加した際には、町内漁業者からの要望として伝えておく。



●道の駅しろいしの新玉ねぎ



岸川 信義 議員  
のぶ よし  
きし かわ



**問** 用排水会議は大雨排水が更に進むよう合同会議にして、実施したらどうか

**答** 現在行っている会議方法で進めていきたいが今後検証もしていく

**議員** 昨年（令和4年の夏場）の大雨における排水対策の総括はどうかであったか。

**農村整備課長** 昨年8月16日から18日にかけて、3日間の雨量は250ミを超え、大雨であった。

防災行政無線による事前排水の呼びかけを行い、水位が高い水路については、区長やゲート操作員に個別にお願いし、白石土地改良区と連携を取りながら、排水に余力のある水路等への分散排水の対応を行った。今後も上下流の連携と相互理解を深めてもらえるよう積極的に関わりながら排水体系の構築に努める。

渇水時の事前排水は、用水確保と排水対策の相反する対応で非常に難しい判断となることもある。特に灌漑期では、雨が降らなかつた場合の対応に懸念があるため、降雨による水

位の回復状況について検証を行ったところ、カマチから50センチ下げた排水を行っても、その後の降雨により翌日には一定の水位回復が見られている。今後も検証を重ね、用排水調整に係る事前排水への理解を深めていきたい。

**議員** 現在、用排水調整会議は、どのような方法で行っているのか。

**建設課長** 現在、用排水会議は5月上旬に旧町単位で開催している。役場建設課・農村整備課と白石土地改良区が主催し、区長・ゲート樋管操作員・排水機場操作員の参加である。

内容は、嘉瀬川ダムからの排水実績、当年の天候予測等を行うとともに、本町の治水対策の要である事前排水を推進している。

**議員** 町内には20箇所を超える排水の問題箇所がある。合同会議を行うことで参加者の共通認識が深まり、大雨排水が進むと考えられる。来年度から旧町ごとに実施している用排水調整会議を、大雨排水が更に進むよう合同会議にすることを提案するが。

**副町長** 役場では、旧町境を超えた大雨排水の強化は重要だと認識している。

しかし合同会議は、旧白石108名、旧福富72名、旧有明地区123名の300名を超える大型の会議となる。

また、旧町境では、取り決めや慣習があり合同会議になると会議本来の趣旨が損なわれることを懸念して今のやり方で進めていきたいが、今後どういったやり方がいいのか検証もしていきたい。





にしやま きよのり  
**西山 清則** 議員

**問** SAGA2024国スポ・全障スポへの本町の考えは

**答** 白石町ならではの大会づくりへ向け、準備を進めている

**議員** 毎年行われていた国体は、来年の佐賀大会から国民スポーツ大会に新しく生まれ変わる。よって、SAGA202

4国スポ・全障スポは成功させなければならぬ。

本町のスポーツ施設を使用される競技もある。その大会に

向け、準備状況と対応策等はどうのように考えているのか。

**生涯学習課長** 実行

委員会を立ち上げ競技団体や関係団体と連絡調整を図りながら、過去に開催された他県の情報を分析している。必要な計画及び要領等を策定して、白石町ならではの大会づくりへ向け、準備を進めている。

競技会場の整備についても、グラウンド整備と防球ネットの改修工事を実施した。大会の運営については、協議会運営に必要な業務や人員数、配置について検討している。

**議員** 大きな大会を控えて、町が主催する年間のスポーツ行事への影響はないのか。

**生涯学習課長** 令和

5年度の自治公民館対抗ソフトボール大会、6年度の自治公民館対抗ソフトボール大会及び町民スポーツ大会の開催は、見送らせていただき、この間、国スポ・全障スポ大会の成功に向け集中して取り組ませていただきたい。



●ウインドウサイン除幕式

**問** オスプレイ配備計画に対する町長の認識は

**答** 町民が安全安心に暮らしていけるよう努めたい

**議員** 佐賀空港にオスプレイが配備された場合、本町にも何らかの形で影響が出てくるのではないかと、本町を含めた周辺市町にも説明会を求め

るべきではないのか。

**総合戦略課長** 県や

九州防衛局等の動向を注視するなど情報収集に努め、町民の皆様が懸念されるようであれば、状況に応じた対応したい。

**議員** オスプレイ配備計画による、佐賀市と防衛省が合意事項を確認したことに町長の認識は。

**町長** 環境保全対策は講じられるにしても、国防という全く違った観点からの要請に、重い決断をされたのだろうと予想している。町としても町民の皆さんが安全安心に暮らしていけるよう情報収集に努めてまいりたい。





ともだ かずお  
**友田 香将雄** 議員

**問** 3校再編後、将来的に1校も考慮が必要では

**答** 1校を見据えなければならないが、それまでに基盤づくりが必要

**議員** 小学校再編が2校案から3校案に変更したことによる年間経費の変化は。

**学校教育課長** 事前の試算では標準的な工事費を元にした場合、年間数百万程度の違いを想定。ただし、物価高騰等もあり実際の事業費とは異なる。

**議員** 福富小学校の今後の整備方針は。

**学校教育課長** 北校舎が昭和49年度建築、令和4年4月現在で築47年。南校舎が昭和55年度建築で築41年経過。建物の長寿命化を図るために計画的に改修を実施し、平成23年度に耐震化補強工事を、平成12年度に北校舎、平成24年度に外壁工事を行った。令和5年度予算に建物の状況調査費を計上しており、結果を見て整備方針を検討する。

**議員** 「白石町人口ビジョン」では2045年に人口が14,299人と予測されている。人口減少対策を強化する事も必要だが、人口減が進んでいく事も想定すれば、今回の3校への再編後に、将来的に1校も考慮する必要があるのでは。

**学校教育課長** 1校を見据えていかなければならないが、小学校がコミュニティの核であることにも鑑み、1校再編を進めるまでに基盤づくりが必要である。

**議員** 小学校再編後の通学にスクールバス以外の他の公共交通機関の利用やそれに伴う補助などの必要は。

**学校教育課長** 通学距離の基準は概ね4km以内。遠距離通学者の支援は今後設置予定の準備委員会で検討する。

**議員** 新型コロナウイルスが感染症法上の位置づけとして5月から5類に移行する。オンライン授業の今後の考え方は。心のバリアフリー化に対する町の考え方は。

**主任指導主事** オンライン授業は、不登校や別室登校の生徒もオンラインで参加できるメリット。教員や児童生徒の負担になり過ぎない取り組みで教育効果を高めていける方法の検討を進める。

※そのほか、財政問題について質問を行った。

**議員** 白石町にゆかりのある人物について知る機会を増やす必要性は。

**主任指導主事** 新しい中学校づくりの中で「ふるさと学（仮称）」を設ける予定で、現在カリキュラムの作成を進めている。「教育は憧れの連鎖である」を具現化した取り組みを進める。





うちの  
内野 さよ子 議員

**問** 急激な人口減少また2040年問題を見据えた対策について

**答** 過疎地域持続的発展計画など着実に実行していく

**議員** 新型コロナ対策の総括とコロナ禍により表れてきた地域課題、また、アフターコロナを見据えた対策についてどのようなにとらえているのか。

**総務課長** 長期に及ぶ行動制限があったが、アフターコロナは人と人のふれあいを取り戻し、また、課題となったデジタル化の取り組みも進展させなければならない。

**議員** 少子化による急速な人口減少と高齢者人口が最大となる2040年問題など日本の内政上の危機的課題と言われている。中長期的に見据えた考え方と対策を伺う。

**町長** 今後、行財政において多くの問題が発生する。令和3年には「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」(新過疎法)が施行され、本町においても過疎地域持続的発展計画を策定した。この計画と「まち・人・しごと創生総合戦略」と合わせ、危機感をもって実行していく。

**議員** 新過疎法には「自然と共生する暮らしの中に、都会にはない密のない住環境があり、今日の日本の底力がある」とある。この考え方に町の政策である人材の育成や地域間交流、地域づくりなどの政策に取り組みでもらいたい。

**町長** 今後の人口減少によってもたらされる課題に対応できる仕組みを町と地域がいかに作り上げていくかが重要。課題を克服できた町には、おのずと人や資源が集まることとなるので、今後も人口減少対策に重点的に取り組んでいく。

**議員** 白石町国民健康保険については、平成20年度の後期高齢者医療制度の施行、また平成28年度から健康保険・厚生年金の段階的な適用拡大により、国保の被保険者数は減少している。今後の国保運営について問う。

**住民課長** 将来の被保険者の減少も憂慮する中、医療費削減のための特定健診事業の強化を重点に適正運営に努めていく。



●さが未来発見塾

**議員** 高齢者の方については、疾病について重症化された方も多くまたサロン等の自粛もあり、健康二次被害などについて、特定健診やアンケート等からどのような状況がみられるか。

**保健福祉課長** データからメタボリックシンドロームの割合の増加また、うつ病などの気分障害による医療費の増加も見られる。コロナ禍での行動制限が原因かは不明であるが、健診の受診勧奨をさらに強化していく。

**町長** 2040年に向け、総合計画に掲げる各施策にしっかりと取り組む所存である。



さだ まつ こう すけ  
**定松 弘介** 議員

**問** 若手職員のアイデアの提案の機会は

**答** 職員提案制度や政策立案研究制度を設けている

**議員** まちづくりには、若手職員の視点や意見は欠かせない。毎年採用される新規

役場職員のアイデアは、どんな形で提案の機会があるのか。

**企画財政課長** 職員

提案制度という形で企画財政課において募集している。町民サービス・行政の効率性の向上、財政上の効果の増大を図る

と共に、行政・財政への参画意識の高揚を目的としている。

提案のあったものは三役・全課長で組織する行政会議で採点する。実施可能な事業については町として決定し、所管課で事業を推進する。

**議員** 若い人材は計り知れないエネルギーを秘めている。そのエネルギーが埋もれることのないよう、自由な発想が発信できる環境づくりは。

**企画財政課長** 概ね

入庁10年未満の職員について、政策立案研究制度を設けている。5人の若手職員のグループで研究し、政策を立案するなど企画力向上につなげている。

**問** ふれあい郷の芝生広場をキャンプに開放を

**答** 遊喜館をPRして充実を図りたい

**議員** アウトドアへの関心が高まって

いる。ふれあい郷の芝生広場をキャンプに開放したら交流人口の拡大に寄与できるのでは。

**企画財政課長** キャンプのできる遊喜館をPRして充実を図ることが優先である

と考える。利用状況を見ながら検討したい。



**問** 行政においてもキャッシュレス決済を

**答** スマートフォンの決済アプリを利用したサービスを開始したい

**議員** 本町のデジタル化に向けた取り組みは。

**総務課長** 今年度は、

役場業務の効率化を図るためのシステム作りや、職員の能力向上に向けた研修会を開始した。役場内で効率化できそうな30業務を選定し、今年度の実施可能な10業務の作業を行っている。残りの20業務については来年度に行う予定。

**議員** 行政においてもキャッシュレス決済を取り入れては。

**総務課長** 町税、保育料、住宅使用料などについて、スマートフォン

の決済アプリを利用して、キャッシュレスで支払うことができるサービスを今年5月から開始したい。

**議員** 爽明館の利用者の利便性向上のため、助成金の申請手続きのデジタル化を。

**保健福祉課長** 助成金を現物給付するなど、手続きの簡素化を検討したい。



みぞぐち まこと  
溝口 誠 議員

**問** 道の駅しろいしを核とした観光事業の確立を急ぐべきでは

**答** 道の駅しろいしを観光の玄関口としたい

**議員** 第3次白石町総合計画では、道の駅しろいしを拠点として新しい人の流れをつくることとされている。道の駅を核とした観光事業の確立を急ぐべきでは。

**商工観光課長** 道の

駅しろいしには年間50万人を超える交流人口が発生している。この交流人口をいかに町内観光につなげるかが課題であると認識している。

道の駅しろいしを拠点として3つの観光ルートを設定し、チラシを常時配布している。今年度、ふくどみマイルンド公園には新たな観光資源としてアート作品を展示していた。また、大型複合遊具も設置されることから、道の駅に近い「みんなの公園」として、道の駅への来場者をマイルンド公園に誘導する必要があると考える。併せて、「大人のスポーツパーク」として、むつごろうカントリークラブや、しろいしパークゴルフ場も新たな周遊コースとしての設定も可能と考える。

今後本町に訪れていただいたお客様



●道の駅しろいし

に少しでも長く滞在いただけるようにしたい。道の駅しろいしを観光の玄関口として白石町観光推進協議会に検討いただき計画していきたい。

**議員** 白石町の観光振興は今一番大事な時を迎えているが、どのように対応していくのか。

**町長** 白石町には観光協会がなく設立が必要。令和5年度に観光協会設立検討委員会を立ち上げたい。

**問** 合併浄化槽の普及促進を今後どのように推し進めていくのか

**答** 補助金を拡充して更なる普及促進に取り組みたい

**議員** 下水道施設の老朽化により計画的な整備、維持管理と機器の長寿命化を図っていく必要がある。

**議員** 合併浄化槽の普及率が伸び悩んでいる。今後の推進策は。

。農業集落排水処理施設と特定環境公共下水道処理施設の統合も視野に入れた将来計画は。

**生活環境課長** 浄化槽本体の設置補助金に加え、宅内配管工事と既存便槽の撤去費について補助を拡充する。個別訪問なども行いながら更なる設置推進に取り組みたい。

**生活環境課長** 現在、汚水処理施設整備構想の見直しを行っており、農業集落排水処理施設の将来的な集約化の可能性を検討している。来年度は全体計画の見直しも行う。

総務常任委員会

庁舎の太陽光発電設備を視察

1月18日、小城市の防災機能強化事業で取り組まれた本庁舎の太陽光発電設備を視察した。

小城市は、ゼロカーボンシティ宣言され、近年多発する災害時の業務継続性（BCP）対策と、72時間の非常用電源の確保のために、全国に先駆けて電力を自給する太陽光発電設備を導入された。

設備には、国の補助金などを受けても約2億4千万円の負担も生じたが、電気料金はゼロとなり電気料金が高騰する中で大きな効果があったと説明された。隣接する保健福祉センターへも常時送電され、停電時でも避難所の電力も賄えるなど、非常時には大きな効果が期待されると認識した。

総務常任委員会では、脱炭素社会の実現と防災体制を合わせた施策を提案できるよう研究したい。



●小城市担当者から施設の説明を受ける

文教厚生常任委員会

新設白石中学校建築の進捗状況を調査

1月30日、白石中学校の建築現場を視察し、工事の進捗状況について説明を受けた。

新築棟においては、令和5年夏の完成を目指して順調に工事が進んでいる旨の説明があった。夏休みに引越し作業を終え、2学期から使用できるように予定されている。また、既存校舎と体育館の改修については、学校の夏季・冬季休業中に大きな作業を行うなど、生徒の安全や学習に配慮しながら工事を進められておられ安心した。

文教厚生常任委員会では、ハード面だけでなく、時代に即したICT環境や多様な部活動など魅力ある学校生活が送れるよう研究していきたい。



●担当者から説明を受ける

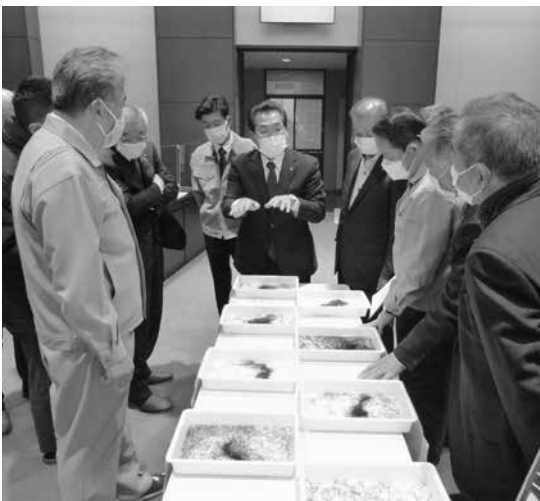
産業建設常任委員会

漁協関係者との意見交換

1月24日、有明海で不漁が続く海苔養殖の現状について、漁協関係者と意見を交わした。

漁場ごとの海苔サンプルで現状が説明された。色落ちと不漁の原因については、プランクトンの大量発生や雨が少なく栄養塩不足が原因で、水揚げがゼロの漁業者もおられ先がまったく見えない。責任産地としてギリギリまで努力をしているとの報告があった。また、色が戻った海苔漁場でも力モノの食害被害が拡大していることもわかった。

産業建設常任委員会では、漁業者が安心して海苔養殖に取り組んでいたできるよう、国や県などへ支援要請を検討していくことを確認した。



●漁協運営委員長から海苔サンプルの説明



## 視察来町（宮崎県国富町議会）

2月7日、宮崎県国富町議会から、本町議会に取り入れているタブレット会議システムの導入について視察された。

本町議会広報特別委員会から、会議システム導入までの経緯や活用方法、また、実際にタブレットに触れながら会議の手法を説明した。国富町でも導入に向けて検討を進めておられ、運用開始後の課題などについて質問された。

本町議会では、業務のICT化、デジタル化を進めるとともに、併せて職員の負担軽減につなげていく必要があるとあらためて認識した。



## 最近の主な議会活動（1月～3月）

	日	曜	
1月	4	水	白石町二十歳の集い
	5	木	新年あいさつ回り 議会だより編集会議
	7	土	白石町出初式
	10	火	議員例会・説明会
	13	金	「SAGA2024国スポ・全障スポ」 ウインドウサイン除幕式 白石町功労者表彰式
	18	水	総務常任委員会所管事務調査 杵藤地区広域市町村圏組合議会臨時会 六角地域づくり協議会設立準備委員会 県政策部長に提案活動
	19	木	杵島郡スポーツ協会第2回理事会
	20	金	県町村議会議長・局長合同会議、政策研究委員会
	24	火	産業建設常任委員会所管事務調査
	25	水	佐賀西部政経セミナー 1月例会
	28	土	白石町社会福祉大会
	30	月	文教厚生常任委員会所管事務調査 同和問題地区別研修講座

	日	曜	
2月	5	日	白石町人権フェスティバル
	6	月	議会運営委員会
	7	火	佐賀県後期高齢者医療広域連合議案勉強会 宮崎県国富町議会より視察
	8	水	六角地区地域づくり協議会設立準備委員会 2月臨時議会
	10	金	杵島地区衛生処理組合議会定例会事前説明会
	12	日	北方領土返還要求佐賀県民集会
	14	火	杵藤地区広域市町村圏組合議会事前勉強会 地域公共交通会議
	15	水	SAGA2024国スポ・全障スポ白石町実行委員会 専門委員会（競技・式典専門委員会）
	16	木	佐賀県後期高齢者医療広域連合議会2月定例会
	20	月	杵藤地区広域市町村圏組合議会2月定例会（開会） 佐賀県町村議会議長会定期総会

	日	曜	
2月	21	火	議会運営委員会 SAGA2024国スポ・全障スポ白石町実行委員会 専門委員会（宿泊・医事・衛生専門委員会）
	22	水	白石町文化振興財団理事会・評議員会 杵島地区衛生処理組合議会
	25	土	白石の地で縁結び
	27	月	佐賀西部広域環境組合議会2月定例会 国民健康保険事業の運営に関する協議会

	日	曜	
3月	3	金	定例会（開会）、議案審議
	5	日	歌垣の郷ロードレース大会
	6	月	議案審議
	7	火	議案審議
	8	水	議案審議 六角地区地域づくり協議会設立準備委員会
	9	木	議案審議
	12	日	六角地区地域づくり協議会設立総会
	13	月	一般質問 知的財産制度研修会
	14	火	一般質問
	15	水	一般質問（閉会）
	17	金	白石町社会福祉協議会理事会・監事会 白石町社会教育委員会及び公民館運営審議会
	22	水	白石町子ども・子育て会議及び白石町子どもの 未来応援会議
	24	金	白石土地改良区通常総代会
	25	土	松浦健康増進施設落成式 東京福富会総会・親睦会 白石の地で縁結び
	27	月	白石町社会福祉協議会評議員会 杵藤葬斎公園新火葬場落成式 杵藤地区広域市町村圏組合議会2月定例会（閉会）
	28	火	白石町行財政調査委員会 白石町男女共同参画等に関する懇話会
	29	水	白石町健康づくり推進協議会 SAGA2024実行委員会総会



## 要望書を受け取りました

●「女性活躍の場」創出に関する要望

提出者 白石町女性団体連絡会

## ◎全国町村議会議長会会長表彰式



27年以上表彰 溝上良夫

## 編集後記



しずいみのりちゃん

コロナウィルスは様々に変異しながらいまだに私たちの中に蔓延し終息の気配がありません。しかし、ワクチンや治療薬の認証があり、この感染症の第5類への移行が発表されました。やっと私たちの生活が普通の日常を取り戻せそうになりました。

この3年間は中学生や、高校生、大学生だった若者にとってかけがえのない青春の3年間です。コロナ禍のために得られなかったものや失ったものの大きさを考えずにはいられません。この苦難を乗り越えて未来に向けて一歩を踏み出す力強い2023年であるよう頑張っていきたいと思います。(中村)

# 議会戦隊 炊飯ジャー

作: Sachiemon

第36話「DX」



## 白石町議会だより/第72号

発行/白石町議会 佐賀県杵島郡白石町大字福田1247-1  
TEL 0952-84-7126 FAX 0952-84-6611

編集/議会広報特別委員会  
責任者/白石町議会議長片淵栄二郎

広報委員 委員長 定松弘介  
副委員長 友田香将雄  
委員 中村秀子 重富邦夫 岸川信義 吉岡正博

DXとは

※「デジタルトランスフォーメーション」の略で、「情報技術の浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる」という意。

